

児童デイサービス月のひかり

令和5年度放課後デイサービス評価表等集計結果の公表について

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「児童デイサービス月のひかり」において「事業者向け自己評価表」並びに「保護者等向け評価表」による評価を実施いたしましたのでその集計結果について公表いたします。

国は次年度（令和6年度）より、評価を充実させるため実施方法を明確化していく方針です。月のひかりはこの方針を受け評価をサービスに反映させ今後も皆様にご満足いただけるよう努めて参ります。

また、今年も月のひかりとして独自にアンケートを行いました。進路や地域サービスについて、今後の勉強会等で取り上げるテーマなどたくさんのご意見を頂きました。これについての回答や対応は、利用者の方々へ直接文書で回答し、HP上でもお伝えしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

令和6年2月

児童デイサービス月のひかり

所長 村上実

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 15日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・感覚過敏のお子さんが多いので、防音対策の部屋がほしいと感じています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・基準を上回る配置はしていますが、個別対応のお子さんが増えているので、より多くの職員の配置が必要な現場になっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	83%	17%	・二階建で段差がありますが、危険な個所では見守りをしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・毎日、支援や業務の振り返りを実施しています。気が付いた点を確認し改善していく機会を大切にしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・事業所独自のアンケートを実施し具体的な要望等を反映できる機会をつくっていきます。また、地域の課題を整理し行政や協議会等に提言していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・利用者全員に配布し、法人HPで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	・第三者評価未実施ですが、苦情解決の第三者委員へ保護者さんからの評価結果やアンケート、苦情等を報告しご意見を頂いています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・様々な研修に参加できてスキルアップになっています。 ・定期的な虐待研修や法人内研修で権利擁護の意識と自身のスキルアップを目指しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	92%	8%	・プラン提示が遅れているケースがあります。適宜に実施できるよう修正していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	アセスメント質を上げるためにも、必要に応じて内容を見直していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・お子さんの特性に合わせて個別に検討しています。 ・長期休みのプログラムは体験を重視して立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・工夫はしているが、固定化している面があります。 ・活動内容の見直しをミーティングや会議で定期で行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	92%	8%	・長期休み前には、職員で話し合い行事を設定してプログラムを実施しています。 ・すべての児童に合わせた課題の設定まではできていません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別課題の提供と、グループ活動の提供と組み合わせ実施していますが、全てのお子さんに実施はできていません。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・支援前は必ず打ち合わせを行い、注意事項や服薬の確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有している	100%	0%	・夕方は必ず振り返り日誌を記録し、出勤者以外も目を通せるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・記録の大切さを研修を通して再確認し、有効に活用しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75%	25%	・遅れているケースがありますが、保護者とのコミュニケーションは良好です。 ・職員全体でモニタリング会議が予定通り開催できない事がありました。今後は適宜開催できるようにしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	・更に、ガイドラインにあるインクルージョンと家族支援を推進し実践も行っていきます。
	20	子どもの意思を尊重した支援をしているか	100%	0%	・日中活動内容を複数提示して選べるようにしています。
	21	社会的養護の必要な子どもに対し適切な支援を行っているか。(要支援児童等の支援)	100%	0%	・要保護児童を積極的に受け止めています。家族も含めて丁寧な支援を提供しています。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・参加しています。 ・事業所で必要を感じた時は相談事業所へ開催の依頼もしています。
	23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・共通課題は相談支援を通じて個別にケア会議等開催を要請し情報交換しています。 ・今年度も学校連携に力を入れ、教育相談を積極的に行っています。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	・現在対象児はいません。
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	・ご家族や相談からの聞き取りのみになってはいますが、必要であればご家族了解の上共有していきます。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・村山特別支援学校の移行ケア会議に参加しています。今年度から山形大学附属特別支援学校とも開催する予定です。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	92%	8%	・主催の研修会には積極的に参加しています。 ・発達障害者支援センターの発信情報が少ないと感じています。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	・学童等との交流はありませんが、地域の公園等での交流は日常にあります。 ・コパルでの活動が増えましたが、同時に地域のお子さんとも会う場面も増えました。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	・児童部会企画の事業所の会等積極的に参加しています。 ・また、協議会に地域課題を上程するようにしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時等、お伝えしていますが、不十分とご指摘を頂いています。より丁寧な情報提供を心がけていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%	・トレーニングとしては実施していませんが、障害特性理解や成長期に関わる諸課題を必要に応じて一緒に考える支援をしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・令和6年度は、利用料変更が予想されるので丁寧に説明をしていきます。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・相談があった際は、その内容に応じた必要な方法、情報をできるだけ早期に提供できるようにしていきます。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%	33%	・近年は行えていません。状況を見ながら懇親会、交流会ができるようにしていきます。 ・ミニ勉強会で将来の情報を提供しています。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情ではないというご意見も苦情として捉え、改善のために対応を検討しています。その結果を個別にはなりますが、説明回答させていただきます。

保護者への説明責任等	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回のデイだよりの発行 ・法人機関誌(年3回)発行 ・活動内容等に関するアンケートの実施 を行っています。
	37	個人情報に十分注意している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物等の入れ違い等が数件あり、大変ご迷惑をおかけしました。取り扱いに十分に注意していきます。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんや家族の方々がいつも話しやすい、相談しやすい環境や雰囲気をつくっていきます。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき100歳体操の実施、地域の高齢者へ体操の機会と場を提供しています。今年度もコロナ対応で未実施です。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にお伝えしていますが、定期にお伝えできるようにしていきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な訓練を行っていますが、訓練時間帯など、多様な状況設定で訓練できるようにしていきます。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止関連の研修を2回実施しました。 ・職員の行動規範のチェックを定期的に実施しています。 ・日々の振り返りで、不適切な支援がなかったか確認しています。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・原則身体拘束等を行いません。その為に支援の質を向上させます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で対応させていただきます。また、情報の更新も行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった日はその日に原因や予防について話し合っています。 ・法人のリスク検討会で全事業所の事例を定期的に配布確認しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年 2月 15日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

保護者等数(児童数) 58 回収数 43 割合 74 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86%	9%	0%	5%		・面談の時など、施設内を見学いただく機会を作っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	79%	12%	0%	9%		・強度行動障害支援者研修の履修者がほとんどです。 ・内部外部研修等積極的に参加しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	82%	9%	0%	9%		・玄関の段差、二階等の階段があり見守りが必要になってます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	83%	5%	7%	5%	・「モニタリング」が遅れていると感じる。	・プラン提示の日程調整が進んでいないケースがありました。早急に提示させていただきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	88%	5%	0%	7%	・家族では連れていけない場所へ連れていってくれる。	・固定化しない様にプログラム検討会議をしています。長期休みプログラムは更に充実していきます。
	6 障がいのない子どもと活動する機会があるか	21%	28%	5%	46%	・障がいのない子どもとの交流は求めている。 ・必要と感じない。	・必要ではないご意見が多いですが、お子さんの将来のために、この機会は積極的に作っていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88%	7%	0%	5%		・ご不明な点はいつでもお尋ねください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	95%	5%	0%	0%	・お願いしたことなどすぐに対応して頂けて感謝している。	・学校との連携を含め、ご家庭との情報共有は常に行っていきたいと思えます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	74%	16%	5%	5%		・何かあれば、いつでも相談の機会をつくっていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	44%	33%	9%	14%	・保護者会が開催されているかどうか、このところコロナの関係でどうだったかわからない	・今年度中に懇談会、勉強会を開催する予定です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	68%	9%	0%	23%	・今のところ我が家では苦情はないので対応に関してはわからない ・苦情はありますか。	・苦情に関しては、機会を捉えて公表していきます。 ・迅速に対応していますが改善迄時間のかかる場合がありますその際は丁寧に説明させていただきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86%	7%	2%	5%	・送迎の段階でいろいろ話をしてくださっている	・個別のコミュニケーションツールで意思の疎通をとるようにしています。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	93%	5%	0%	2%	・毎月のお便りに写真をたくさん載せて頂いているので活動の様子が分かりやすいです。職員さんの紹介も楽しみです。	・法人HP上でも、活動の様子を発信していきます。	

	14	個人情報に十分注意しているか	93%	5%	0%	2%		・連絡帳の渡し間違いがありました。十分注意していきたいと思います。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	63%	26%	2%	9%		・各種マニュアルはありますが周知していませんので、今後お知らせします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	47%	14%	0%	39%		・訓練の様子をお知らせするようにします。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	95%	5%	0%	0%	・視覚支援等分かりやすい支援がされていて嬉しい。	・すべてのお子さんに楽しみに通っていただける様に、常に創意工夫をしながらサービスの質の向上も目指していきたいです。
	18	事業所の支援に満足しているか	93%	7%	0%	0%		・お子さんの将来像を共有していける事業所でありたいと思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

令和5年度 月のひかり保護者アンケート

●現在、生活全般で不安な面はありますか。

- ・路線バス等を1人で乗り降りできるか。
- ・お金の概念理解についてどのくらい理解が進むのか。
- ・親なきあとのこと。(同意見2件)
- ・排泄系の自立。(同意見4件)
- ・パニック、自傷、危険行為、拘りについて(同意見5件)
- ・ネットやゲームとの付き合い方。
- ・思春期に入り感情に波があること。(同意見2件)
- ・身体が大人になり、性の部分が気になる。(同意見2件)
- ・言語が無いのでコミュニケーションについて(同意見2件)
- ・卒業後の進路について(同意見2)
- ・支援学校になってから体力が落ちたこと。
- ・支援を受けられる高校が少ない。もっと進路先があっていいのでは。

●現在、地域のサービス資源についてこんなサービスがあればいいと思っている事がありますか。

- ・よく分からない。どんなサービスがあるのか知りたい。(同意見12件)
- ・短時間、好きなときに預けられるところ(特に土日)(同意見3件)
- ・高校卒業後、放デイのような延長利用など、夕方預かってもらえるサービスや場所がほしい。(同意見3件)
- ・スクールバスがほしい(同意見2件)
- ・ショートステイの数が少ない。増やしてほしい。送迎付きがほしい。(同意見6)
- ・緊急な時、直ぐ利用できるショートステイがほしい。
- ・公共バスの乗り方やマナーを学べる機会があれば。(移動支援など)
- ・山形市報に載っている障がい児の親が集えるサロンが平日の昼ばかりで仕事していると参加できない。土日や夜オンラインの集会があればいい。
- ・災害の際に、障がい児は福祉避難所が利用できるのか。
- ・生活介護がもっとほしい。
- ・行動援護のサービスがほしい。
- ・福祉タクシーの充実(運用は柔軟に使いやすいもの)。

●お子さんの将来像を、現時点でどのようにお考えですか。(生活介護、就労系、入所、グループホームなど) そう考える理由はなんですか。

- ・まだ具体的には考えていないが、本人が楽しく安心して通える就労先が見つければいい。
- ・就労まずは自宅から通う。送迎付きだとなおよい。(自立に向けて)
- ・まだ想像できない。(同意見 2 件)
- ・今後の成長次第、発達状況をみて判断していきたい。
- ・生活介護事業所を利用したい。(同意見 3 件)
- ・就労継続支援 B 型事業所(就労系)の利用を考えている。(同意見 8 件)
- ・生活介護と入所またはグループホーム。(同意見 8 件)
(母子家庭のため 1 人でみていくには限界があるから、親亡き後の為早めに馴れていて欲しい、グループホームに暮らしながら生活介護に通う、慣れ親しんだ土地で暮らしてほしい)
- ・グループホームに住んで事業所で働いてほしい。(同意見 7 件)
- ・一般就労、就労 A 型 現実には厳しいが。
- ・ある程度収入がある仕事に就き、自分の時間を持てる生活をしてほしい。

●職員の支援について、感じている事があれば具体的にお聞かせください。

- ・ショートステイなどの食事の調理など少し手作り感があってもよいかと。
- ・たまに体に傷があるが状況説明と把握をきちんとしてほしい。
- ・毎回利用するとき職員が代わるが、関わる職員は日によって違ってくるのか。
- ・水分補給など、判断できないので常に声掛けをお願いしたい。
- ・家ではしない行動があるので驚いている。これからも色々な経験をさせてほしい。
- ・明るくあたたかい雰囲気です安心して預けられる。

●今後、月のひかりの勉強会等で取り上げてほしいテーマや内容があればお聞かせください。

(令和 4 年度は「グループホームについて」生活の流れ、年金や費用について勉強会実施)

- ・高校卒業後の進路、生活全般。(手当て、保険、サービス) (同意見 4 件)
- ・思春期の対応。(性など) (同意見 2 件)
- ・子供が死ぬまでのプラン。(親亡き後、グループホームだと〇〇、入所だと〇〇…みたいな流れがわかると安心。)
- ・福祉避難所、災害時の対応について。(同意見 2 件)
- ・グループホーム、生活介護について見学など。(同意見 5 件)
- ・卒業までに準備しておくことなど。
- ・就労系の事業所について。
- ・OB のお母さんの経験談等。(同意見 2 件)
- ・余暇や趣味の提供について。